

各 位

上場会社名	株式会社 ヤマダ電機
代表者	代表取締役社長 山田 昇
(コード番号)	9831)
問合せ先責任者	経営企画室部長 山田 寿
(TEL)	027-345-8181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	846,000	4,300	9,000	3,000	3.35
今回修正予想(B)	833,000	5,700	12,100	4,000	4.77
増減額(B-A)	△13,000	1,400	3,100	1,000	
増減率(%)	△1.5	32.6	34.4	33.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	897,575	△2,365	5,586	△4,170	△4.42

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,813,000	42,100	52,000	24,700	27.64
今回修正予想(B)	1,692,000	32,000	41,000	17,700	22.08
増減額(B-A)	△121,000	△10,100	△11,000	△7,000	
増減率(%)	△6.7	△24.0	△21.2	△28.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	1,893,971	34,265	50,187	18,666	20.21

修正の理由

(1) 平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

当第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、平成26年3月末までの消費増税前の駆け込み需要の4月以降の大きな反動減が期初想定を超えて続いていることに加え、前年と比較して梅雨明けの2週間遅れ、夏のボーナス商戦期における消費の弱含み、8月から9月にかけて発生した豪雨や台風の自然災害による客足への影響等、様々な要因が重なり、家電市場が期初想定を大きく下回り推移したことから売上高が予想を下回る見込みとなりました。

一方、社会環境変化に対応した各種経営改革推進による売上総利益率の改善、店舗の効率化、販管費の削減等により営業利益、経常利益、四半期純利益は予想を上回る見込みとなりました。

(2) 平成27年3月期通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

通期業績予想につきましては、依然として家電市場における消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が続いていることに加え、一部においては先行した物価上昇等による生活防衛の動きも見られ、消費は力強さを欠き、10月以降も期初想定を大きく下回った状況で推移していることから、売上高及び各利益について前回予想を修正いたします。

※ 上記予想及び記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。